

# 令和7年度 第2回長門市公共交通協議会議事録要旨

日時:令和7年6月27日(金)13:30~

長門市役所本庁電話本庁5階「委員会室2・3・4」

■日 時:令和7年6月27日(金)13:30~14:30

■場 所:長門市役所本庁 5階「委員会室2・3・4」、Web

■出席者:21名(欠席5名)別紙のとおり

■次 第:

1 会長あいさつ

2 議事

(1)令和7年度長門市公共交通協議会事業計画・予算(案)について

(2)令和8年度地域公共交通確保維持事業計画(案)について

1.地域内フィーダ系統確保維持事業に係る計画(案)

2.地域間幹線系統確保維持事業に係る計画(案)

(3)その他

①サンデン交通バスの運賃改定について

②JR 美祢線復旧検討部会の報告について

③デマンド交通利用者意見の反映について

④その他質疑

1. 会長あいさつ

2. 議事

(1)令和6年度長門市公共交通協議会事業報告及び収支決算について <<承認>>

事務局から、資料2について説明を行った。

※質疑等なし

(2)「令和7年度長門市公共交通協議会事業計画・予算(案)について <<承認>>

事務局から、資料3について説明を行った。

※質疑等なし

(3)令和8年度地域公共交通確保維持事業計画(案)について <<承認>>

事務局から、資料4について説明を行った。

※質疑等なし

(4)その他

①サンデン交通バスの上限運賃改定について

サンデン交通(株)辻野委員から、参考資料2について説明を行った。

※質疑等なし

## ②JR 美祿線復旧検討部会の報告」について

事務局から、「美祿線復旧検討部会報告書」について説明を行った。

※質疑等については以下のとおり

### 【JR 西嶋委員】

JR西日本の西嶋です。私から少し補足させていただきます。事務局から説明のあった通り、運行ルートや停留所の設置については、実証実験でも行ったが、鉄道より柔軟に対応することが可能であり、地域の実情や変化、皆様のまちづくりに対応できるということではないかということであり、そのことが公共交通として利便性と持続可能性を備える重要な要件であると考えている。

また、専用道については、BRTとは、様々な手法を用いて、求められるニーズに応じて「速達性」、「定時性」、「輸送力」を従来のバスよりも高度な性能を発揮させるということであり、専用道は特に速達性・定時性の向上への貢献が高い走行空間に関わる手法の一つである。従来のバスにはない次世代のバスシステムを作りあげることが BRTという輸送モードになる。

BRT 案の専用道については、BRT というイメージがしにくい輸送モードをイメージしていただく意味も含めて BRT 案ということでお示しさせていただいた。その後、当社のお示した区間以外の区間についてもご意見いただき追加パターン例としてお示しさせていただいているが、具体案については、地域の皆さまと作りあげていくものだと考えている。専用道は、定時性・速達性へ貢献する部分もあるが、部会でお示した通り、区間によっては観光コンテンツや自動運転等の先進技術の実証フィールドによる活用や、歩行者と公共交通の走行空間を分ける歩車分離 といった街づくりに寄与する部分もあるので、BRT を検討することになれば、皆様と様々な観点で対話を重ねていきたいと考えている。

様々な工夫を施し地域の将来に相応しい新しいモビリティの構築を目指したいと考えている。

次に山陰本線についてですが、被災した粟野川橋りょうの復旧工事を鋭意進めており、現在のところ、年内の運転再開を目指している。雨のシーズンであり、まだ工程が流動的なところがあるが、もう少し工事が進捗し、目途が立ってまいりましたら、月一度行っている支社長の定例会見等を通じて、皆様にお知らせさせていただきたい。

## ③デマンド交通利用者意見の反映について

事務局から、参考資料3について説明を行った。

※質疑等については以下のとおり

### 【委員】

デマンドを始めて 10 年を超えていますが、利用者の声、要望はこれまで直接聞いており、その都度、市と共有し、改善すべき点は改善してきている。

内容によっては、国(運輸支局)に確認が必要なこともあり、市と連携しながら対応しており、要望があってもどうしてもできないことは、こちらから利用者に説明もしている。アンケートをやらなくても、利用者の要望、課題は把握できており、市とも共有している。全ての要望に対応できるわけではないので、アンケート実施でなく、これまでどおりの方法でいいと思う。

### 【榊原アドバイザー】

住民意見を把握する方法として、アンケートは1つの手法ではあるが、唯一の方法というわけでもない。アンケートは回答のしやすさを重視して作成されるため、いくつかの選択肢から選ぶような回答が中心となる。そのような回答データは、個別路線の改善にはつながりにくい可能性があると思われる。デマンド交通の個別の改善に関して、アンケートで言えば、自由意見が参考になる可能性があるが、そのような意見は委員が言われたように、利用者・運行当業者からのヒアリングで聴取する方法がある。アンケートは意見動向の把握が主目的で、個別路線のきめ細かい意見把握には向かないと思われる。

### 【運輸支局・岩永(國宗委員代理)】

運輸支局の見解としては、手引きには PDCA サイクルの実施が望ましいと記載されているが、その方法まで国としては特段定めていない。

長門市は利用者の声を反映しながら、随時、デマンド交通の見直しを実施されていることから、これまでのやり方でも特段問題はないと思われる。最終的には、各協議会での判断であるが、利用者の声を反映できるのであれば、意見集約の方法については、アンケートという手法にこだわる必要はない。

### 【大谷会長】

岩永委員、ありがとうございました。委員の皆様の意見も踏まえすと、アンケートについては、利用者様からの意見・要望は事業者を通して市(行政)に伝えており、必要に応じてデマンド交通の変更を随時している。ということと、利用者の意見の反映は、アンケートという手法に限ったものではない。ということから、改めてアンケートを実施するのではなく、これまでどおり、デマンド交通制度説明会の時や、運行事業者とのヒアリングの際など、様々な方法で随時利用者の声をいただくようにしたい。

そして、いただいた意見をもとに公共交通協議会において、現状分析および協議を行い、各委員のご意見もいただいた上で、毎年度見直しを実施していくというよう

にしたい。また、榊原アドバイザーからもご意見ありましたように、次期計画策定のために、デマンド導入以降の要望内容・課題等はしっかり整理しておきたいと思うので、事務局のほうで課題等の整理をお願いしたい。

#### ④その他質疑

##### 【委員】

デマンドとは関係ないことですが、タクシーのことでお聞きしたいことがある。  
今、長門市では夜間何時までタクシーが利用できるのか？実は先日外食して、夜間の運転は危ないからタクシーで帰ろうと思いタクシー会社に電話したら「もう営業は終わりました」と言われた。20:00頃だったと思う。夜は利用できないんでしょうか？

##### 【新日本観光交通(株)山下委員】

うちの会社は24時までやっています。早いところは夕方 16:00~17:00 で終わっています。そうせざるを得ないくらい運転手がいらない。ですから、できれば前もってわかれば予約していただきたい。

うちの会社は萩にも有るが、萩は 19 時に終わります。どこの会社も運転手不足で大変だと思う。そういう事情で、すみませんがよろしくをお願いします。

#### ③今後の手続きについて

##### 【会長】

本日承認いただいた令和8年度生活交通確保維持改善計画「長門市地域内フィーダ一系統確保維持計画」について、早速、国土交通省に提出したい。提出後、国における決定に際し、軽微な修正事項等が発生した場合は、会長並びに事務局に一任いただきたい。